

2024年度活動報告書



ごあいさつ

情報支援レスキュー隊 (IT DART) は2015年8月に設立されました。当初は東日本大震災で情報支援活動を行った有志が集まったグループでしたが、次第に活動に賛同してくださる方が増え、今ではさまざまなバックグラウンドを持つメンバーと一緒に活動しています。活動の中心は自然災害の際に被災者支援を行う団体を後方から情報で支援することで、IT機器の貸与や情報通信環境の整備、情報の整理活用の支援を行っています。また発災時だけでなく、支援活動を円滑に進めるための情報共有システムの開発や体制づくりにも継続的に取り組んでいます。

これらの活動は、IT DART の活動に参加する皆さま、連携・協力して活動する各種団体の皆さま、そしてわれわれの活動に賛同して、機材や活動資金を支援してくださる皆さまに支えられています。皆さまのご協力に、厚く御礼申し上げます。

このたび、2024年度の活動報告書をまとめました。能登半島地震や奥能登豪雨の影響が大きい一年でしたが、多くの皆さまからのご支援を受けて、被災した方々の生活再建のために活動を続けることが出来ました。今後も災害時の情報支援活動を進めていきますので、引き続き皆さまのご支援ご協力をお願いします。

2025年7月

一般社団法人 情報支援レスキュー隊 (IT DART)

代表理事 佐藤大・宮川祥子

1. 活動ハイライト

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨への支援

2024年度の支援活動は、主に能登半島地震および奥能登豪雨の被災地を対象に行いました。

支援団体の通信環境、パソコン環境の構築

輪島市の20か所以上の避難所、能登地域各市町の災害ボランティアセンター、支援団体の拠点などを回り、パソコン、プリンタ、モバイルルータの設置や運用サポートを行いました。

災害時には多くの災害支援団体が活動しますが、情報通信環境の整備にまで手が回らない状況があります。これを支援することで、被災者対応に集中できる状況を作ります。また現地での設置作業が支援先団体の活動の支障にならないよう、数十台のパソコンのアップデートやインストールなどの作業を、事前に都内で2回実施しました。

この活動に当たっては、通信機器やパソコンなどを（株）NTTドコモ北陸、ソフトバンク（株）、（株）インターネットイニシアティブ、（有）咲楽屋、（株）ネクステック、（一財）移動無線センター、PSCP（株）、（株）EvoLINQ、（一社）モバイル・コンテンツ・フォーラムからご支援いただきました。

支援先は、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)、災害NGO 結、レスキューストックヤード、ピースポート災害支援センター、青年海外協力協会 JOCA、風組関東、bousaring、DC-CAT、オレンジグループ、災害人道医療支援会 Huma、ぐるんとびー、キャンナス、日本YMCA同盟、支援P、石川県社会福祉協議会、石川県などです。

被災者関連情報の運用支援、データベース化支援

穴水町で避難者データベース構築を行うレスキューストックヤードに対して、データ入力を効率化するために、スキャンおよびOCR作業の環境整備を実施しました。

金沢市のいしかわ総合スポーツセンター内に設置された1.5次避難所において、日本YMCA同盟とともに避難所運営のサポートを行いました。この避難所では多くの支援団体・専門職チームが活動していましたが、これらの団体が入所者のケア記録を紙ベースで共有・管理する方法の調整や、退所後にも2次避難先などで継続的な支援を受けるためのケア情報のデジタル化・データベース化の支援を行いました。

これらの活動に当たっては、（株）PFU、リコージャパン（株）から機材および技術情報をご提供いただきました。また紙データのスキャン作業は、地元の三谷産業（株）の有志の方々と一緒に行いました。

避難所デジタルサイネージの情報更新

各地の避難所には、自治体が発信する情報を避難者に知らせるために、デジタルサイネージが設置されました。七尾市、輪島市、志賀町の避難所にNTTコミュニケーションズが設置した デジタルサイネージに対して、表示する情報の更新作業を実施しました。

看護ボランティア派遣調整システムの開発

輪島市の避難所で看護系の支援活動を行うぐるんどびーおよびキャンナスに対して、支援活動に参加する方々がチームを組み、一緒に移動するためのマッチングを支援するシステムを開発・提供しました。

技術系ボランティアによる道路啓開実績マップの作成

幹線道路の啓開は国交省や自治体が主導して行われますが、生活道路の啓開は技術系ボランティアが実施しています。これらの団体の貢献を可視化するデジタルマップを作成し、災害NGO結からの依頼を受けて、DRT Japan、コミサポひろしま、SEEDS of HOPE、ヒューマンシールド神戸、チームすぎさんの活動実績を掲載しました。

災害ボランティア募集情報の収集・整理・再発信

各地の災害ボランティアセンターや災害支援団体が、それぞれの方法でボランティアを募集しています。これらの情報をまとめた一覧表を作成し、初期には毎日、状況が落ち着いてからは週に数回のペースで更新するとともに、FacebookとXで募集内容を発信しました。この活動は2025年6月現在も継続しています。

スターリンク・セットアップ用簡易マニュアル作成

各地の行政拠点や支援拠点、避難所などの通信確保のために、KDDIおよびソフトバンクによりスターリンク機器が提供されました。これらが円滑に活用されるよう、スタートアップマニュアルを作成し、一部の支援拠点や避難所に対して、設置・運用の支援を行いました。



支援団体への機器貸出実績

2024年4月から2025年3月までの新規貸し出し数は下表の通りです。

種別	貸出数
ノートパソコン	87
モバイルルータ、LTEルータ (タブレット含む)	21
プリンター複合機	40
携帯電話	8

その他の活動

能登への支援以外にも、下記の活動を行いました。

NPO法人 災害支援DXイニシアティブへの参加

- 2023年6月に全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)、ピースボート災害支援センター(PBV)、岡山NPOセンターとともに、災害支援DXイニシアティブを設立し(2024年12月4日特定非営利活動法人(NPO法人)として認証)、災害支援におけるDXの推進を行っています。
<https://www.saigaidx.jp/>

メディア掲載

- 2024/4/23 Yahoo!ニュース「能登地震「携帯つながらない」被災地の通信途絶 新技術で解消なるか」
<https://news.yahoo.co.jp/articles/1a38ae9b46e3adaca052c56b409aa15e154f370a>

雑誌・書籍

- 「2024年の災害とインターネット」インターネット白書2025 pp.129-134 (佐藤大)
- 「あなたのスキルは社会に役立つ～エンジニアだからできる社会貢献～【150】能登半島地震におけるIT DARTの支援活動～IT技術者ができる災害支援～」Software Design 2024年6月号 (大菊健太)

講演

- 2024/5/13 全国防災関係人口ミートアップ vol.168 「災害支援を情報で支援する」 (佐藤大)
- 2024/5/17 ITRC Meet55@日本橋「能登半島地震と災害時の情報支援」 (佐藤大)
- 2024/8/14 河合塾 知の広場@仙台「災害、災害支援、災害医療」 (佐藤大)
- 2024/8/22 36th ISOC-JP Workshop@神田「災害支援を情報で支援する」 (佐藤大)
- 2024/10/25 第58回 JAIPA の集い in 金沢「災害支援を情報で支援する」 (佐藤大)

学会・研究会での発表

- 2024/12/7 RIXX-RIEC Workshop 2024@仙台 「民間災害支援者を情報で支援する」 (佐藤大)
- 2025/1/5 第13回日本公衆衛生看護学会学術集会@名古屋 「令和6年能登半島地震での1.5次避難所におけるケア情報共有の取り組み」 (宮川祥子)
- 2024/10/25 地理情報システム学会第33回学術研究発表大会@宇治「災害対応における空間情報の活用ー令和6年能登半島地震の事例を通じてー」 (畑山満則)
- 2024/12/26 災害コミュニケーションシンポジウム@宇治 「阪神・淡路大震災の教訓は令和6年能登半島地震にどのように生かされたか？」 (畑山満則)
- 2024/12/26 災害コミュニケーションシンポジウム@宇治 「令和6年能登半島地震 支援者から見た1.5次避難所の成果と課題」 (宮川祥子)

論文

- 「令和6年能登半島地震における1.5次避難所の運営と課題」 自然災害科学 43(3) 665-678 2024年11月 (宮川祥子, 畑山満則, 佐藤大)
- 「令和6年能登半島地震から学ぶ災害時の情報課題」 三田評論2024年12月号 (宮川祥子)

イベントの開催・協力

- 2025/1/31 災害ボランティアセンター運営訓練@石巻 (宮城県社協主催) への機材支援および運営支援 (佐藤大)

2. ご支援

いただいたご支援

当団体の活動には、中央共同募金会（赤い羽根）および日本財団より助成金をいただきました。

赤い羽根共同募金



Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

また東北OSS利活用検討会と、2名の個人より計110,000円のご寄付をいただきました。

皆さまのご厚志は、支援機材の購入や現地での活動などに活用しております。心より御礼を申し上げます。

寄付、機材提供のお願い

継続的に現地での情報支援活動を行うために、みなさまからのご支援を必要としています。ご協力をよろしくお願いいたします。

- 寄付金は IT DART ウェブサイトの「[寄付金お申し込み](#)」でフォーム入力の上、振り込みをお願いします。
- パソコン、プリンター、WiFiルータ、携帯電話などの機器をまとめてご提供いただける場合は、ウェブサイトの「[お問い合わせ](#)」からご連絡をお願いします。

隊員登録のお願い

現地での活動以外にも、後方支援として情報入力／情報発信／情報分析／情報機器のセットアップ／梱包作業など、多くの作業が必要です。具体的な活動は、隊員用のSlackやGoogleグループ上で情報共有しながら行います。

ご協力いただける方は、IT DART への隊員登録（無料）をお願いします。隊員規約や登録フォームは、ウェブサイトの「隊員」タブをご参照下さい。

IT DARTは皆さまからのご寄付および会費で運営されています。

引き続きのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

IT DART ウェブサイト
<https://itdart.org/>

